

# えびはら直矢市政報告

発行人  
海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323  
E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-



2020年12号  
2020.12.14



## 保育所の登園自粛について質問 不公平のないようルールを徹底を

すべての保育施設で同じ方法で自粛が図れるよう対応する旨答弁

12月14日、12月定例会の一般質問を行いました。今回は、①保育行政、②子ども支援、③福祉施策、④自然環境保護の4つのテーマについて質問をしました。

保育行政についての質問では、3月2日から5月31日まで行われた登園自粛要請について取り上げました。これは、自粛要請が各保育所等の判断によって行われたことによって、保育所ごとに自粛率が大きく異なったという問題です。

登園率について市に確認をすると、「自粛率(3月時点での登園率と5月時点での登園率の差異)」は、公立保育所で29%であるのに対して、最も率が高い地域型保育事業所では44%と15%も異なりました。これは、単純に地域型保育事業所の定員から計算すると、約40名分にあたります。この課題について質問をすると、市からは「登園率に差異が生じていたとすれば問題。改めて同様の事態が生じた場合はすべての保育施設が同じ方法で登園自粛が図れるよう対応する」との答弁がありました。

保育所を適切に利用できるかどうか、ということは働く方々にとってはまさに生命線です。再度同様の事態に陥ることは少ないとは思いますが、そのときに場当たりの対応が繰り返されることは避けなければなりません。必要な方がきちんと保育の提供を受けられるよう、ルールの徹底を求めています。



キーワード

登園自粛要請

学校の臨時休業要請や国の緊急事態宣言の間も、保育所については原則開園とされていたが、感染拡大を防止する観点から3月2日から5月31日まで、可能な範囲での家庭での保育や保育時間の短縮が要請された。具体的な要請方法は各保育所等の判断で行われた。



データでみる

保育所の登園自粛

登園自粛要請後の「自粛率」は、公立保育所とその他の保育所で大きな開きがある。

	3月登園率	5月登園率	自粛率
公立保育所	75%	46%	-29%
私立保育所	80%	41%	-39%
認定こども園	77%	42%	-35%
地域型保育事業所	79%	35%	-44%

質問の内容は、上尾市議会インターネット中継でご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)

# 市の計画へのご意見を

この12月から1月にかけて、多くの重要な計画などについて市民コメントが募集されています。例えば、『第6次上尾市総合計画案』は、令和3年度から10年間の上尾市の基本的な施策の方法性を決める計画です。『上平地区複合施設基本構想案』は、前回の市長選の争点の一つにもなった、複合施設建設について、上平支所と図書館分館から成る施設を10億円で建設することについて意見を求めるものです。



複合施設案についてヒアリング

市民コメント制度は「意見を募集した上で、提出された意見とそれに対する市の考え方を公表するとともに、市民の意見を政策などに反映させる制度」とされており、皆さんの意見を計画などに反映させる非常に重要な機会です。ぜひ関心のあるテーマについて、ご意見をお寄せください。

## 市民コメント制度に基づき意見募集中の計画など

- 第6次上尾市総合計画(案) 11/30~12/25
- 第2期上尾市地域創生長期ビジョン(案) 11/30~12/25
- 第2期上尾市地域創生総合戦略(案) 11/30~12/25
- 上尾市行政改革プラン1.0(案) 11/30~12/25
- 第6期上尾市障害福祉計画(案) 12/18~1/19
- 第2期上尾市障害児福祉計画(案) 12/18~1/19
- 第8期上尾市高齢者福祉計画(案) 12/21~1/22
- 第3次上尾市人材育成基本方針(案) 12/25~1/25
- 上平地区複合施設基本構想(案) 12/1~12/28
- 上尾市国民保護計画(案) 12/1~12/28
- 「外国人住民との共生」アンケート 12/1~1/10

国民保護計画案、外国人住民との共生アンケートを除く各計画は、市ホームページ・市役所1階情報公開コーナー・支所・出張所・公民館で閲覧と意見書の提出が可能です。国民保護計画案はHPもしくは情報公開コーナーで、アンケートはHPで確認できます。

## 活動報告



2020年12月8日

総務常任委員会

12月議会の総務常任委員会が行われ、請願1件と議案6件を審査しました。

請願については、オール上尾市民活動ネットワークから提出された『SDGs(持続可能な開発目標)の実現に向けた「誰一人取り残さない」市政を推進する請願』に対し全委員が採択すべきとしました。

## えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。  
 ●上智大学法学部卒  
 ●首都大学東京社会人類学教室修了。  
 国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在も子どもの複数の団体の運営に携わっている。2017年上尾市議会議員に初当選(現在2期目)。議会運営委員会副委員長。  
 家族:妻、長男、長女、次男